

開催日時	令和7年7月25日(金) 19時00分～21時30分
開催場所	web
出席者	理事、監事、各部署の長もしくは代理
欠席者	なし
記録者	松本
議題1	新執行部の紹介 令和7年度以降の県士会運営について
【内容】	<p>新体制に伴い、各担当理事の役割分担の説明(詳しい役割分担は局別会議にて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職能関係事業 山本・水田</li> <li>・マルチモビリティ研修事業 熊谷 県との調整 井貫 急性期研修 森沢</li> <li>・会員周知IT・DX 木澤・山口</li> <li>・役員管理者研修 井貫</li> <li>・啓発活動 桑山</li> <li>・学校保健 樋笠</li> <li>・研修事業統括 熊谷</li> <li>・女性活躍 中谷</li> <li>・事務局機能の効率化 山口 財務 正木</li> </ul> <p>主要事業の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチモビリティ研修事業について 2年前から、回復期(呼吸、循環、代謝)の施設対象に5日間コースの研修が開始。今年度急性期施設対象のコースを新たに予定。 特に、急性期領域での人材不足と算定加算獲得の難しさあり。県補助金を活用した研修予算の確保と育成戦略。</li> <li>・士会会費の減額実施 令和8年度からの会費減額(年1万円→8,500円)が正式決定。また、県外会員からの研修参加費・県からの補助金等を会費外収入として確保し、安定運営につなげていく(昨年度実績:約300万円の外部収入)。</li> <li>・60周年事業の準備 令和9年度の兵庫県理学療法士会60周年事業に向け、次年度中に実施計画を策定する必要あり。小山副会長を中心に準備を開始する。</li> <li>・ICT・事務局体制の強化 AIを活用した議事録作成自動化、財務業務の効率化</li> <li>・代議員理事連絡会の意見反映 昨年度実施された代議員理事連絡会における提案を事業反映する方針と具体手順(分類・スケジュール・部署割り当て)について報告</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS運用について 資料を元に説明。理事部長グループに資料共有参照 県士会のインスタグラムの運用方法の紹介。ほとんどみられていない現状あり。 投稿内容を県士会主催の勉強会や研修会情報に特化した投稿へと切り替える。 HPTAインフォメーションメールは各支部でいつも通り行う。 同時並行で年内インスタグラムで広報行い、評価する。 PT協会のアプリの紹介もしていく</li> <li>・各局の報告 ・支部局 代議員について、各支部の会員が分かるようにしっかり努めてほしい 選挙(連盟)と支部の活動を切り離して運営できないか、会員が理解できれば。 部と支部の連携会議の調整を各局にはお願いしたい。 マルチモビリティ研修で、各支部の受講状況を知りたい。 ズームアカウントで、支部局500名、事務局100名にしてはどうかという意見。</li> <li>・学術局 学術編集部 投稿論文が少ないので、ホームページ内申請ルートを分かりやすくしたい。 理学療法講習部 順調に参加者集まっている。認定カリキュラムについて業務負担多いので、マニュアル作成しながら方策検討中。</li> </ul>

生涯学習部 新人説明会4月開催のメリットあり。  
県学会運営部 演題数120で現在査読中。参加登録現在170名  
臨床実習講習部 指導者講習は養成校中心で行っているが参加者が減っているので、取りまとめが急務となっている。

・社会局

研修会登録の統一化 今年度の事業の展望の確認を進めた。

研修会登録を事務局にお願いしている。

市民、会員外に目を向けた企画も検討中。他部局とのコラボも考えている。

・事務局

広報部 SNSを活用した広報を進めている。ラインワークスにグーグルフォームのURLをアップして、4か月間試験運用し、評価し、内容の見直しを行っていく。

デジ部 ブラストメールのルール化。オフィシャルメールの会員データの入れ替え作業を事務局に移行。

会計業務検討会を立ち上げ、予算執行の見える化を行っていく。

次回の予定	日時:9月19日(金)理事会
日時・場所	場所:web
今後の予定	